

Business
Report

へんしゅ

第52期 / [2022年4月1日~2023年3月31日]



KANEMATSU ENGINEERING CO., LTD.



兼松エンジニアリング株式会社

証券コード：6402

超強力吸引作業車
(SQ-13BVP)



代表取締役社長

山本 琴一



代表取締役専務

柳井 仁司

CONTENTS

- 1 ごあいさつ
 -
- 2～3 財務ハイライト
 -
- 4 財務諸表
 -
- 5～6 事業概要
 -
- 7～8 製品トピックス
 -
- 9 トピックス
 -
- 10 会社情報

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、第52期決算のご報告として「BUSINESS REPORT へんしも」をお届けいたします。

営業の概況等

当期における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症再拡大や物価上昇などの懸念材料はあるものの、各種規則の緩和による人流の増加に伴う個人消費活動は回復傾向にあり、民需を中心に景気は緩やかに持ち直しております。

かかる状況下、外的要因によるシャシの入庫時期が不透明な状況もあり、大型機種や特殊製品の販売に伸びは見られず、売上高は減少となりました。

加えて前期に操業開始した工場「テクノベース」の償却負担もありましたが、工場「テクノベース」建設に伴う補助金により、前期を上回る利益を計上いたしました。

また、足元の受注環境は好調であり、受注残高は、前期を上回る高水準で推移しております。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月

表題 へんしも(土佐弁)の解説

「へんしも」とは土佐弁で「早く」「急いで」の意。
スピーディーな情報開示の想いです。

売上高

11,335百万円
前期比**4.5%**減



営業利益

709百万円
前期比**30.9%**減



経常利益

732百万円
前期比**28.6%**減



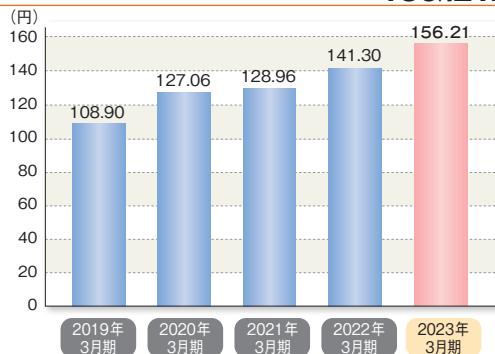
当期純利益

754百万円
前期比**0.5%**増



1株当たり当期純利益

156円21銭



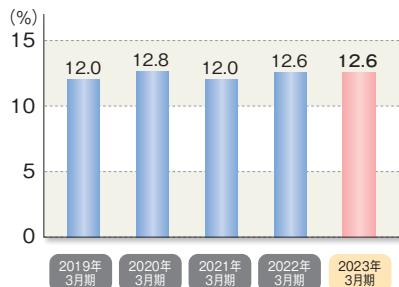
1株当たり純資産

1,288円01銭



財務分析指標の推移

ROE (自己資本当期純利益率)



ROA (総資産経常利益率)



PER (株価収益率)



PBR (株価純資産倍率)



自己資本比率



配当性向



2024年3月期業績予想

項目	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
第2四半期予想	5,750百万円	390百万円	400百万円	280百万円	57円35銭
通期予想	11,500百万円	780百万円	800百万円	560百万円	114円71銭
対前期増減率	1.5%増	10.0%増	9.3%増	25.7%減	

財務諸表

貸借対照表

(単位:千円)

科 目	当 期 末 (2023年3月31日)	前 期 末 (2022年3月31日)
(資産の部)		
流動資産	7,854,903	6,761,595
固定資産	5,899,919	6,050,065
有形固定資産	5,150,055	5,457,983
無形固定資産	364,134	289,524
投資その他の資産	385,728	302,558
資産合計	13,754,822	12,811,661
(負債の部)		
流動負債	5,343,840	5,272,699
固定負債	2,122,955	1,826,557
負債合計	7,466,796	7,099,256
(純資産の部)		
株主資本	6,287,376	5,713,399
資本金	313,700	313,700
資本剰余金	356,021	356,021
利益剰余金	6,445,653	5,957,262
自己株式	△827,998	△913,585
評価・換算差額等	649	△994
純資産合計	6,288,026	5,712,404
負債純資産合計	13,754,822	12,811,661

損益計算書

(単位:千円)

科 目	当 期 (自 2022年4月 1 日 至 2023年3月31日)	前 期 (自 2021年4月 1 日 至 2022年3月31日)
売上高	11,335,810	11,871,124
売上原価	8,654,765	9,069,528
売上総利益	2,681,044	2,801,596
販売費及び一般管理費	1,971,711	1,775,437
営業利益	709,332	1,026,158
営業外収益	30,677	31,330
営業外費用	7,448	31,772
経常利益	732,561	1,025,717
特別利益	370,572	26,508
特別損失	14,428	36,034
税引前当期純利益	1,088,705	1,016,191
法人税等	334,344	265,913
当期純利益	754,360	750,277

キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	当 期 (自 2022年4月 1 日 至 2023年3月31日)	前 期 (自 2021年4月 1 日 至 2022年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,284,443	△243,689
投資活動によるキャッシュ・フロー	△334,954	△1,290,070
財務活動によるキャッシュ・フロー	△541,042	1,178,570
現金及び現金同等物の増減額	1,408,446	△355,189
現金及び現金同等物の期首残高	562,293	917,482
現金及び現金同等物の期末残高	1,970,739	562,293

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

当社は環境整備機器の製造販売を行っています。
 その中でも産業廃棄物処理関係が主体であり、各種製品の特徴及び売上推移は、次の通りです。

強力吸引作業車・汚泥吸引作業車

売上高 **7,141**百万円

国内最大シェアを占め、産業廃棄物等の収集運搬に用いられるとともに、様々な付加機能により用途を広げています。

〈用途〉

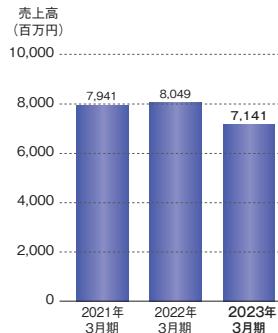
- 廃棄物の収集運搬
- 汚泥の高揚程回収
- 汚泥の長距離吸引



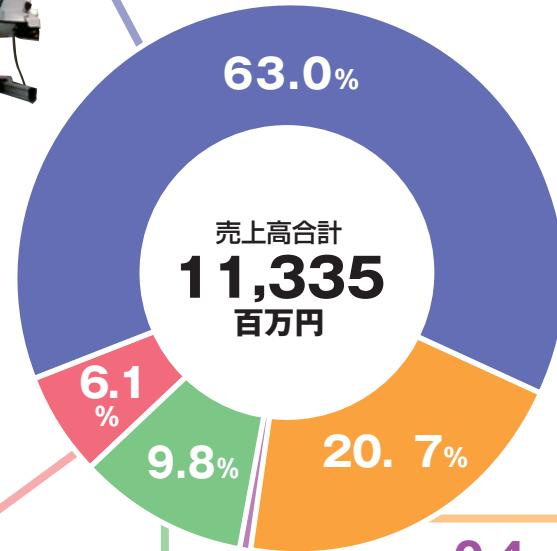
超強力吸引作業車 (SS-13BWJP)



強力吸引作業車 (NS-04CVP)



製品別売上高 構成比



新製品等/その他

売上高 **696**百万円

新製品や主要区分に属さない製品及び修理等が含まれています。



定置型吸引機 (NEL-150SW)



高圧洗浄車・ビルメンテナンス用清掃車

売上高 **2,350**百万円

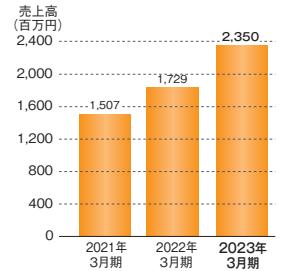
高性能の実現と誰にでも使用できる使い易さで市場に浸透しています。強力吸引作業車に次ぐ当社第2の主力製品となっています。

〈用途〉

- 下水道管の洗浄
- ビル配管システムのメンテナンス
- 熱交換器の清掃



高圧洗浄車 (JS-04S2320A)



粉粒体吸引・圧送車

売上高 **39**百万円

吸引機能と加圧圧送機能を組み合わせ、粉粒体の長距離・高所搬送を行います。

〈用途〉

- 石灰・セメント
- 原料等粉粒体の回収
- 高所搬送



粉粒体吸引圧送車 (SM-16BVYT)



部品販売

売上高 **1,106**百万円

当社製品に関連する部品の売上げです。



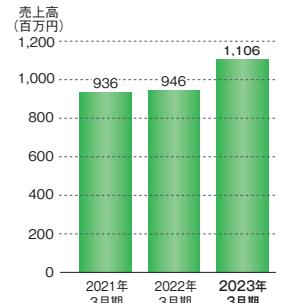
フローゲージ



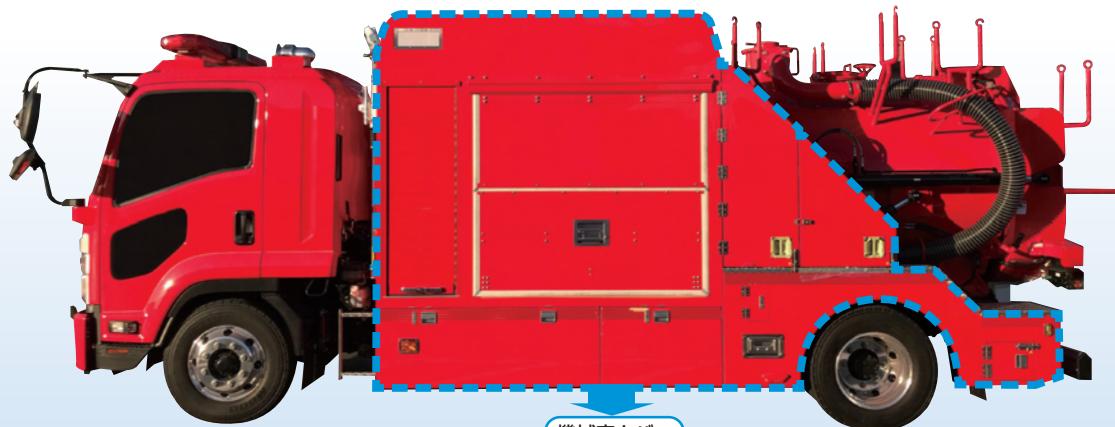
送り出し装置用タイヤ



長円型レベル窓



災害対策用 空冷式強力吸引作業車 (NS-06CVP (S))



機械室カバー

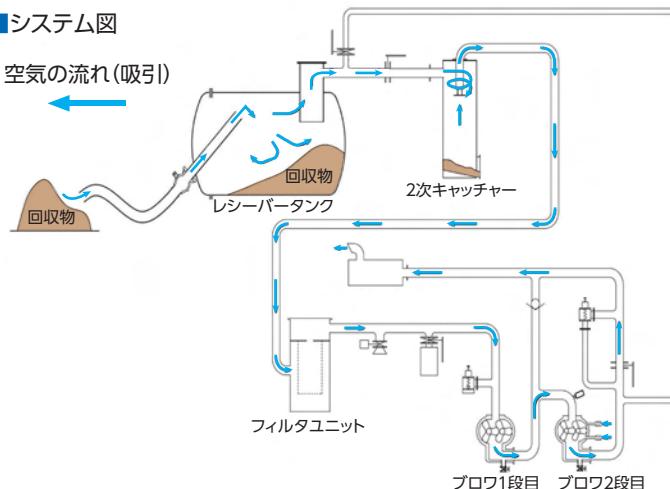


資機材収納棚

機械室内

■システム図

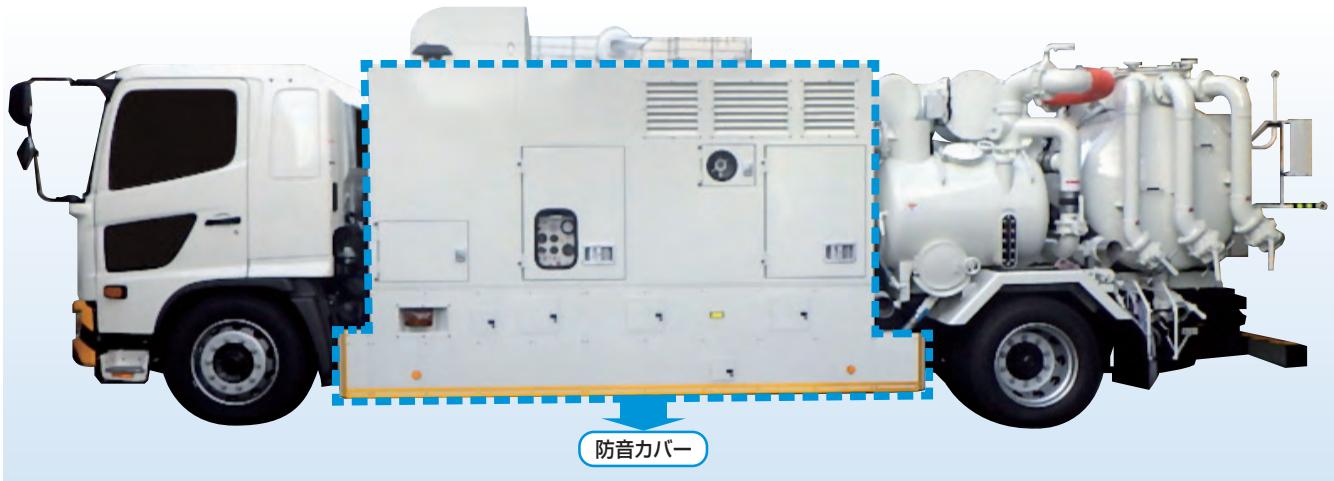
空気の流れ(吸引)



本製品は、災害対策用、救助作業対応用としての空冷式強力吸引作業車です。

災害対応中に作業が止まる事の無いように、連続的に運転する事が可能な空冷式ブロワーを搭載しています。またキャビン後方機械室カバーには資機材収納棚を設け、限られたスペースで災害救助に必要な用具一式などを収納できる様に工夫がされています。災害時の土砂等の吸引用ノズルにも長さや形状が異なるものが複数搭載され、災害現場に応じた柔軟な作業が可能な車輛となっています。

防音型 独立エンジン式超強力吸引作業車 (AD-07BV)



本製品は、ビルやマンションの排水管のライニング工事への使用を主目的とした防音型独立エンジン式超強力吸引作業車です。

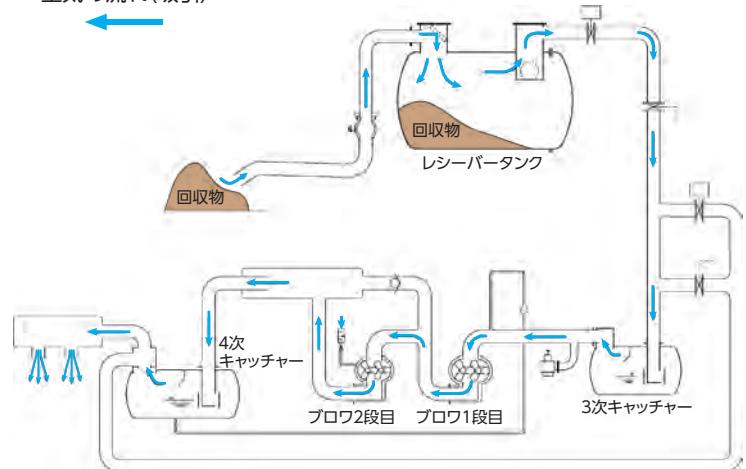
工事では排水管内に高速の空気の流れを発生させる為の大風量と、都市圏のマンション等の住宅街に近接して行う為の静音性が求められたので、その両方の要求を満たした性能を有した車輛です。

特徴

- 作業用独立エンジンとそれを覆う防音カバーによって低騒音運転を実現。
- 無線による遠隔操作が可能、離れた場所からでも吸引開始・停止が任意に行えます。
- レシーバータンク付き。

■システム図

空気の流れ(吸引)



防災訓練実施



はしご車放水



救助活動



屋外消火栓



起震車体験

新工場『テクノベース』へ移転して初となる防災訓練を実施致しました。高知北消防署、一宮分団との合同による火災を想定しての大規模訓練であり、はしご車による工場屋根への放水、負傷者救助、消火栓からの放水訓練など、本格的訓練によって改めて災害時対応の確認を致しました。

また、同時期に本社でも防災訓練を行い、こちらでは来る南海トラフ大地震に備え、座学や起震車による実際の揺れを体験しました。このように、当社ではBCPを念頭として防災意識、危機管理意識の向上に努めています。

四国産業技術大賞受賞



マイクロ波減圧乾燥装置

四国地域の産業技術の発展に顕著な貢献があった企業などを表彰する、第27回四国産業技術大賞で『マイクロ波減圧乾燥装置』が産業技術大賞を受賞しました。

※マイクロ波減圧乾燥装置とは
独自の真空制御技術とマイクロ波加熱技術を組み合わせた「品質」「省エネ」「汎用性」に優れた低温乾燥装置です。

新基幹システムへの移行、運用開始について

2023年1月23日、基幹システムが約30年振りに更新となりました。個別受注生産に特化した新たなシステムを採用し、当社独自の業務はカスタマイズにより活かし、一元管理することで更なる業務効率化を目指してまいります。

会社の概要

(2023年3月31日現在)

設立年月日	1971年9月1日
資本金	313,700,000円
従業員数	239名
事業内容	強力吸引作業車、高圧洗浄車等 環境整備機器の製造販売

役員

(2023年6月20日現在)

代表取締役社長	山本 琴一
代表取締役専務	柳井 仁司
常務取締役	北村 和則
社外取締役	長山 育男
社外取締役	十川 智基
常勤監査役	中野 守康
社外監査役	高芝 貴彦
社外監査役	岩田 誠

事業所

(2023年3月31日現在)

本社	〒781-5101 高知市布師田3981-7 TEL (088) 845-5511 FAX (088) 845-5211
テクノベース	
生産技術センター	〒781-8130 高知市一宮4786-34 TEL (088) 820-2900 FAX (088) 820-2440
検査出荷センター	〒781-8130 高知市一宮4786-33 TEL (088) 820-2907 FAX (088) 820-2447
東日本支社	
東東京支店/ 西東京支店	〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町20-1 アンソレイエ・オオタ6F・8F TEL (03) 3667-7330 FAX (03) 3667-7333
東北・北海道支店	〒982-0012 仙台市太白区長町南4-12-27 NS泉崎2F TEL (022) 248-2991 FAX (022) 248-2995
札幌営業所	〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東1-3-23 山勇ビル5F TEL (011) 893-0861 FAX (011) 893-0860
名古屋支店	〒462-0013 名古屋市中区東味鏡1-702 TEL (052) 902-5538 FAX (052) 902-5525
西日本支社	
大阪支店	〒566-0064 大阪府摂津市鳥飼中2-2-43 TEL (072) 653-1136 FAX (072) 653-1350
中四国支店	〒739-0026 広島県東広島市三永2-8-16 太田ビル1F TEL (082) 426-2131 FAX (082) 426-2133
四国営業所 (本社内)	〒781-5101 高知市布師田3981-7 TEL (088) 845-5511 FAX (088) 845-8844
福岡支店	〒810-0001 福岡市中央区天神3-10-1 天神源氏ビル6F TEL (092) 761-7761 FAX (092) 761-7760

株式の状況

(2023年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	17,576,000株
発行済株式の総数	4,881,955株 (自己株式682,045株を除く)
株主数	2,493名
大株主	

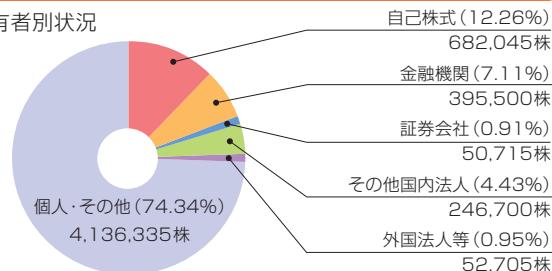
株主名	持株数	持株比率
山本 琴一	471,000株	9.65%
兼松エンジニアリング従業員持株会	403,100株	8.26%
山口 隆士	318,432株	6.52%
山本 吾一	262,860株	5.38%
三谷 恵美子	212,680株	4.36%
柳川 裕司	197,860株	4.05%
株式会社四国銀行	152,100株	3.12%
坂本 洋介	133,848株	2.74%
三谷 公男	106,540株	2.18%
三谷 仁男	97,500株	2.00%

(注) 1.当社は、自己株式(682,045株)を保有しておりますが、上記表には記載しておりません。
2.持株比率は、自己株式(682,045株)を控除して計算しております。

株式分布状況

(2023年3月31日現在)

■所有者別状況



■所有数別状況

